

ハーバード大学公衆衛生大学院 「武見国際保健プログラム」設立30周年記念シンポジウム

来賓あいさつ

原徳寿・厚生労働省医政局長 (田村久厚労働相の代読) 武見プログラムは長期にわたり、世界で活躍する医師の国際保健に関する知識向上に寄与してきました。日本の医療はさまざまな課題を抱え、今後、高齢化で、さらに医療需要が高まります。医療機関の機能分化・連携による、効果的で効率的な医療提供体制の構築に、日本医師会の一層のご協力をたまりたいと思います。

カート・トン・在日米国大使館首席公使 武見プログラムは健康、保健分野における、世界全体の大きな変化に寄与してきました。

日本は、世界全体の健康増進を目標にしていますが、教育を土台に進む必要があります。その点、武見プログラムが成し遂げてきたことは、一つの例になるでしょう。日本は30周年を機に改めて手を結び、これから先も、進んでいきたいと思います。

武見敬三・参院議員 私の父親(武見太郎氏)がプログラムの創設を議論していたのが、つい昨日のようです。

現在、日米両国は、グローバルヘルス分野を国際社会の共通課題として、一緒に取り組むようになっています。武見プログラムは、こうした取り組みの原型を作りました。日本の医療を考える上でも、武見プログラムが引き続き、大きな役割を果たすと確信しています。

手代木功・日本製薬工業協会会長 武見プログラムが目的とする、グローバルヘルスの知識を高め、国の政策の制度的発展や改革に資することには、国際社会において非常に重要です。

グローバルヘルス向上のためには全ての国、地域の人々が国際レベルで協力しなければなりません。当協会もさまざまな形で貢献していきます。武見プログラムのような取り組みは喜んで支援したいと思います。

石井氏「これまでの講演から、地域から世界へ、世界から地域へ」という今回のテーマが、見えてきました。追加したところがあります。

近藤氏「日本が保健分野で先進国に仲間入りできたのは、国民皆保険を達成した点にあるのですが、それだけで世界一の健康国は無理です。そのあたりを世界に伝えていくのが、課題だと思います。」

神馬氏「医療水準向上と果たした日本の地域保健の事例に関する英語の文庫が非常に少なく、世界の人々の状況を知らずにはない状況です。長野県旧八千穂町では、赤痢などの感染症対策で、衛生指導員が、後継者不足を懸念し、保健指導員として活躍してきています。感染症から慢性疾患へと移っている途上国に紹介できる事例です。しかし、英語の文庫として残っていないと思います。」

中村氏「2つ追加したいと思います。一つは地域医療と一言ありますが、以前から地域医療は医師、保健師、助産師などのコラボレーションが、かかっています。もう一つは地域で働く人々の、下の階層です。地方行政から「こむごむ」したところまで、とつながって、うまくマッチングしたところだと思います。」

ライシュ氏「日本の健康状況が世界である理由は、簡単に説明できません。皆保険は必要要件ですが、それだけでは十分、結局女性の要素も、また、健康状況がよくなるので、武見プログラムでの取組は、



パネリスト(左から)ライシュ教授、神馬征峰教授、中村安秀教授、石井孝正理事、武見敬三参院議員、日本医師会代表、石井孝正理事、武見敬三参院議員

◇パネリスト
ハーバード大学公衆衛生大学院・武見プログラム マイケル・ライシュ教授
東京大学大学院国際地域保健学 神馬征峰教授
大阪大学大学院人間科学研究所 中村安秀教授
長崎大学熱帯医学研究所 山本太郎教授
九州大学大学院災害・救急医学分野 永田高志助教授
東京大学大学院保健社会行動学分野 近藤尚己准教授

◇座長
日本医師会 石井孝正理事
特定非営利活動法人AMDA 菅波茂理事長

「健康大国 日本」連携強化

シンポジウムのテーマは「地域から世界へ、世界から地域へ 武見プログラムの過去・現在・未来」

当初からプログラムを指導してきた、同大学のマイケル・ライシュ教授による基調講演や日本人フェロー5人の講演、パネディスカッションを通じて、国際保健分野で武見プログラムが果たしてきた役割や、日本の医療界は世界に何を発信していけばいいかなどを議論した。

医学関連の貴重書・日医の国際活動特別展示

シンポジウムの開催にあわせ、日本医師会は11月22～24日、東洋文庫との共催で、幕末から明治初期にかけての医学関係文書の特別展示を、東京都文京区の同文庫ミュージアムで行った。

当時、解剖学の勉強に使われた絵入りの書物などを中心に、日々

日本医師会は11月23日、東京都文京区の日本医師会館大講堂で、ハーバード大学公衆衛生大学院「武見国際保健プログラム」設立30周年記念シンポジウムを開いた。

武見プログラムは、国際保健に取り組む研究者の育成するため、日本医師会が1983年、武見太郎元会長の名を冠して、同大学院に設立。世界11カ国から、242人、日本人は52人のフェロー(研究員)を輩出している。

パネルディスカッション

石井氏「これまでの講演から、地域から世界へ、世界から地域へ」という今回のテーマが、見えてきました。追加したところがあります。

近藤氏「日本が保健分野で先進国に仲間入りできたのは、国民皆保険を達成した点にあるのですが、それだけで世界一の健康国は無理です。そのあたりを世界に伝えていくのが、課題だと思います。」

神馬氏「医療水準向上と果たした日本の地域保健の事例に関する英語の文庫が非常に少なく、世界の人々の状況を知らずにはない状況です。長野県旧八千穂町では、赤痢などの感染症対策で、衛生指導員が、後継者不足を懸念し、保健指導員として活躍してきています。感染症から慢性疾患へと移っている途上国に紹介できる事例です。しかし、英語の文庫として残っていないと思います。」

中村氏「2つ追加したいと思います。一つは地域医療と一言ありますが、以前から地域医療は医師、保健師、助産師などのコラボレーションが、かかっています。もう一つは地域で働く人々の、下の階層です。地方行政から「こむごむ」したところまで、とつながって、うまくマッチングしたところだと思います。」

ライシュ氏「日本の健康状況が世界である理由は、簡単に説明できません。皆保険は必要要件ですが、それだけでは十分、結局女性の要素も、また、健康状況がよくなるので、武見プログラムでの取組は、

肥満が慢性疾患の原因

世界の貧困層は自己負担が連年の3割に達している。その中でも、肥満が慢性疾患の原因となることが明らかになってきた。肥満は、糖尿病、高血圧、心臓病、がんなどの慢性疾患の原因となることが明らかになってきた。肥満は、糖尿病、高血圧、心臓病、がんなどの慢性疾患の原因となることが明らかになってきた。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

「地域から世界へ、世界から地域へ 武見プログラムの過去・現在・未来」

歓迎の辞

武見プログラムは、日本の医療を世界に広げ、グローバルな知識と経験を持つ優秀な指導者を育てることが重要である。武見プログラムは、そのために尽力している。武見プログラムは、日本の医療を世界に広げ、グローバルな知識と経験を持つ優秀な指導者を育てることが重要である。

基調講演

武見プログラムは、日本医師会の会長として、国際保健の向上のために、日本医師会を率いている。武見プログラムは、日本の医療を世界に広げ、グローバルな知識と経験を持つ優秀な指導者を育てることが重要である。

日本医師会がパートナー

日本医師会は、武見プログラムの重要なパートナーとして、協力している。日本医師会は、日本の医療を世界に広げ、グローバルな知識と経験を持つ優秀な指導者を育てることが重要である。

肥満が慢性疾患の原因

世界の貧困層は自己負担が連年の3割に達している。その中でも、肥満が慢性疾患の原因となることが明らかになってきた。肥満は、糖尿病、高血圧、心臓病、がんなどの慢性疾患の原因となることが明らかになってきた。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。

母子手帳が医療に貢献

武見プログラムで、日本の母子手帳が医療に貢献していることが明らかになってきた。母子手帳は、妊婦の健康状態を把握するための重要なツールであり、医療者に提供することで、適切な医療を提供することができる。武見プログラムは、母子手帳の活用を促進し、医療の質を向上させることを目指している。

災害医療の前線に立つ

これからの日本の災害医療を考えた場合、3つの日が大事だ。それは、11月23日、24日、25日。11月23日は、東日本大震災の日。24日は、東日本大震災の日。25日は、東日本大震災の日。災害医療の前線に立つためには、これらの日を大切にする必要がある。

国民皆保険制度を発信

国民皆保険制度は、日本の医療制度の根幹を成している。この制度は、誰もが安心して医療を受けられることを目指している。国民皆保険制度を世界に発信し、他の国々にも導入されることを目指している。